

# DECISION

Request No.: 06

## Protest

Event: 2022 近畿北陸学生ヨット選手権団体戦 Sailing Event Race Number: 7  
Hearing Schedule: 2022-09-24 18:20

### PARTIES AND WITNESSES

**Request No.: 06:** 国際スナイプ級 - JPN 30843 - 10 - 明間亮 金沢大学

国際スナイプ級 - JPN 30256 - 15 - 中野泰生 龍谷大学ヨット部

**Witnesses:** 自艇のクルー

### VALIDITY

**Objection to Jury:** No

**Within Time Limit:** Within Time Limit

**Incident Identified:** Yes

**Proper Hail:** Protest hailed

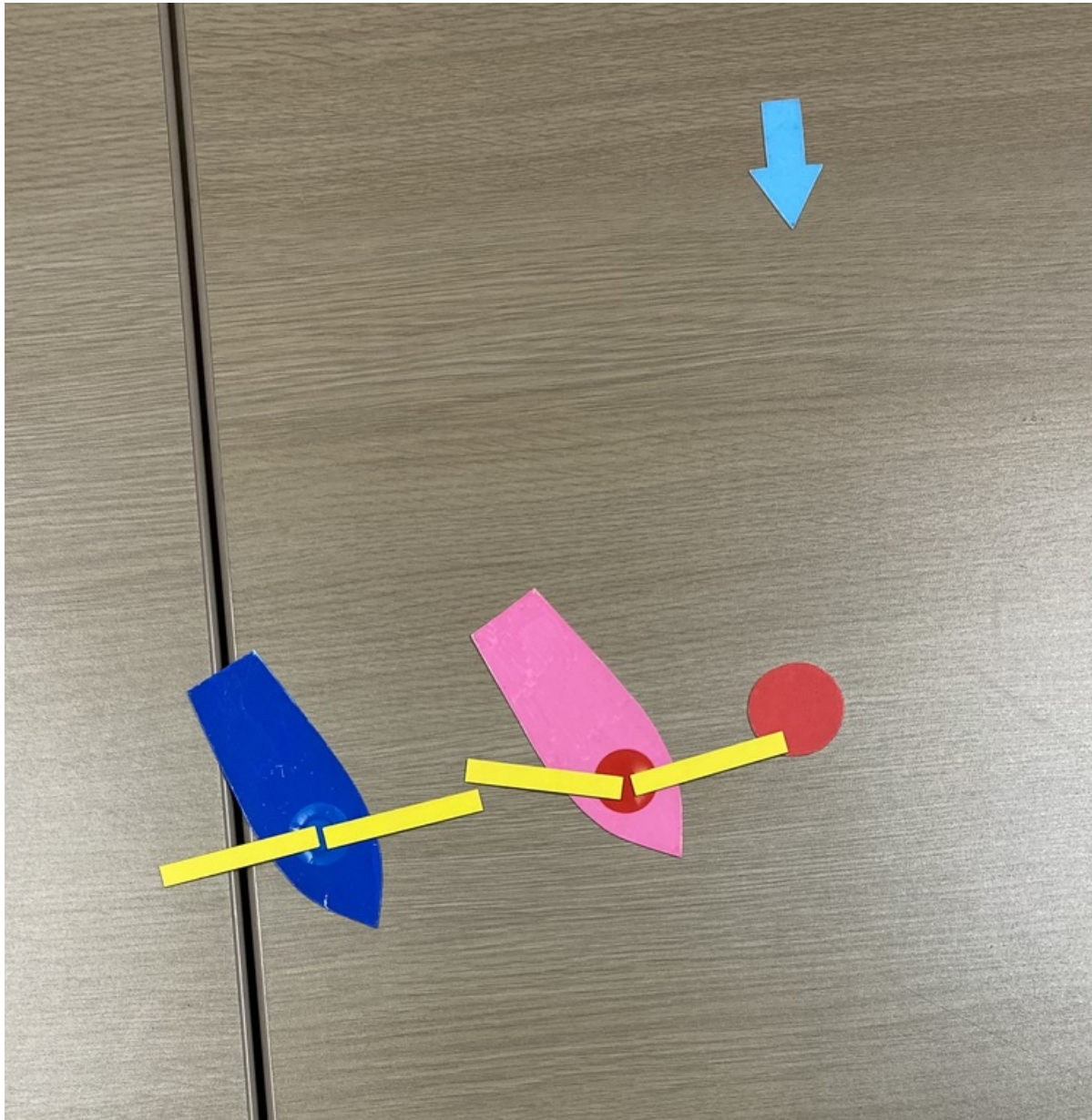
**Red Flag Displayed:** Not required

**Decision:** Request Valid

### PROCEDURAL MATTERS

審問開始時刻18:20

### FACTS FOUND



case6.heic 856 KB

470級第7レースにおいて、風速は5m/sで波のあるコンディションであった。10号艇と15号艇はともにポートタックで、風下帆走していた。両艇が第3pマークのゾーンに進入したとき、15号艇は10号艇の内側にオーバーラップしていた。10号艇がフィニッシュマークに向けてラフィングを開始した直後に、10号艇のランチャーポール先端が15号艇のメインセール風下側と接触した。両艇が接触した時、15号艇ランチャーポール先端とマークとの距離は30cmであった。両艇はそのまま帆走し、両艇ともにペナルティは履行していない。

**Diagram:** Protest Committee diagram attached

#### CONCLUSIONS AND RULES THAT APPLY

Rules: 14, 18.2(b)

ゾーン進入時15号艇の外側にオーバーラップしていた10号艇は15号艇にマークルームを与えず、両艇は接触した。10号艇はRRS 18.2(b)および14に違反した。15号艇は常識的に10号艇との接触を回避することが不可能であったため、RRS14には違反していない。

#### DECISION

第7レースにおいて、10号艇を失格とする。

Date & Time: 2022-09-24 19:00 JST

PROTEST COMMITTEE

**Chaired By:** Takeshi Hosokawa (JPN)  
**Committee Members:** Ayako Shima (JPN), Hikaru Tagaya (JPN)

Printed: 28 Sep 21:18